

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称:

製品名称: BL シルバーコート トップクリアー硬化剤

製品番号(SDS NO): 20150909002-2

推奨用途及び使用上の制限

使用上の制限: 塗料(硬化剤)

供給者情報詳細

供給者: 有限会社 プレゼンス

住所: 〒212-0055 神奈川県川崎市幸区南加瀬 4-18-1

電話番号: 044-587-3139

FAX: 044-580-3431

e-mail address: info@badland.net

緊急連絡先電話: 044-587-3139

2. 危険有害性の要約

製品の GHS 分類、ラベル要素

GHS 分類

物理化学的危険性

引火性液体: 区分 2

健康に対する有害性

皮膚腐食性及び刺激性: 区分 2

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性: 区分 2

発がん性: 区分 2

生殖毒性: 区分 1B

特定標的臓器毒性(単回ばく露): 区分 1

特定標的臓器毒性(単回ばく露): 区分 2

特定標的臓器毒性(反復ばく露): 区分 1

吸引性呼吸器有害性: 区分 1

環境有害性

水生環境有害性(急性): 区分 2

水生環境有害性(長期間): 区分 3

GHS ラベル要素



注意喚起語: 危険

危険有害性情報

引火性の高い液体及び蒸気

皮膚刺激

強い眼刺激

発がんのおそれの疑い

生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

臓器の障害

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害

飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ

水生生物に毒性

長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き

安全対策

環境への放出を避けること。

熱/火花/裸火/高温などの着火源から遠ざけること。ー禁煙。

容器を密閉しておくこと。

容器を接地しアースをとること。

防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/その他機器を使用すること。

火花を発生させない工具を使用すること。

静電気放電に対する予防措置を講ずること。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

保護手袋を着用すること。

保護手袋及び保護面を着用すること。

保護眼鏡/保護面を着用すること。

指定された個人用保護具を使用すること。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

火災の場合: 指定された消火剤を使用すること。

気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。

ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診断/手当てを受けること。

ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合: 多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。

皮膚(又は髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること。

無理に吐かせないこと。

飲み込んだ場合: 直ちに医師に連絡すること。

貯蔵

換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。

廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

物理的及び化学的危険性

非常に燃えやすい液体である。蒸気が滞留すると爆発の恐れがある。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 :

混合物

成分名	含有量(%)	CAS No.	化管法政令番号
キシレン	1 - 20	1330-20-7	1-080
エチルベンゼン	1 - 20	100-41-4	1-053
酢酸n-ブチル	1 - 20	123-86-4	-
ヘキサメチレン=ジイソシアネート	< 1	822-06-0	1-391

注記:これらの値は、製品規格値ではありません。

危険有害成分

毒物及び劇物取締法「劇物」該当成分

ヘキサメチレン=ジイソシアネート

安衛法「表示すべき有害物」該当成分

キシレン，エチルベンゼン，酢酸 n-ブチル

安衛法「通知すべき有害物」該当成分

キシレン，エチルベンゼン，酢酸 n-ブチル，ヘキサメチレン=ジイソシアネート

化管法「指定化学物質」該当成分

キシレン，エチルベンゼン

GHS 分類区分該当有害成分

健康有害性シンボル該当成分

エチルベンゼン

4. 応急措置

応急措置の記述

一般的な措置

気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。

ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。

ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。

多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

無理に吐かせないこと。

直ちに医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

火災の場合は泡、粉末、炭酸ガスを使用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

回収が終わるまで十分な換気を行う。

適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

(火災・爆発の防止)

熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。ー禁煙。

容器を接地しアースをとること。

防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/その他機器を使用すること。

火花を発生させない工具を使用すること。

静電気放電に対する予防措置を講ずること。

安全取扱注意事項

保護手袋を着用すること。

保護手袋及び保護面を着用すること。

保護眼鏡/保護面を着用すること。

指定された個人用保護具を使用すること。

配合禁忌等、安全な保管条件

適切な保管条件

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと。

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

管理濃度

(エチルベンゼン)

作業環境評価基準(2012) <= 20 ppm

(酢酸 n-ブチル)

作業環境評価基準(2012) <= 150 ppm

(キシレン)

作業環境評価基準(2004) <= 50 ppm

許容濃度

(エチルベンゼン)

日本産衛学会(2001) 50ppm; 217mg/m³

(酢酸 n-ブチル)

日本産衛学会(1994) 100ppm; 475mg/m³

(キシレン)

日本産衛学会(2001) 50ppm; 217mg/m³

(ヘキサメチレン=ジイソシアネート)

日本産衛学会(1995) 0.005ppm; 0.034mg/m³

(エチルベンゼン)

ACGIH(2010) TWA: 20ppm (上気道刺激; 腎臓障害; 渦巻管損傷)

(酢酸 n-ブチル)

ACGIH(1995) TWA: (150ppm)

STEL: (200ppm) (眼および上気道刺激)

(キシレン)

ACGIH(1992) TWA: 100ppm

STEL: 150ppm (上気道および眼刺激; 中枢神経系損傷)

(ヘキサメチレン=ジイソシアネート)

ACGIH(1985) TWA: 0.005ppm (上気道刺激; 呼吸器感作)

衛生対策

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理的状態

形状：液体

物理的状態が変化する特定の温度/温度範囲

初留点/沸点：126°C

引火点：(エチルベンゼン)18°C

自然発火温度：420°C

爆発特性：引火又は爆発範囲

下限：1vol %

上限：7.6vol %

10. 安定性及び反応性

化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性(経口)

[日本公表根拠データ]

(エチルベンゼン)

rat LD50=3500 mg/kg (EHC 186, 1996)

(キシレン)

rat LD50=3500 mg/kg (環境省リスク評価第1巻, 2002)

(ヘキサメチレン=ジイソシアネート)

rat LD50 =747 mg/kg (計算値)

急性毒性(経皮)

[日本公表根拠データ]

(ヘキサメチレン=ジイソシアネート)

rabbit LD50=593 mg/kg (CERI ハザードデータ集 2000-50, 2001)

急性毒性(吸入)

[日本公表根拠データ]

(エチルベンゼン)

vapor : rat LC50=4000 ppm (ATSDR, 1999)

(酢酸 n-ブチル)

mist : rat LC50=0.74 mg/L/4hr (ACGIH, 2001)

(ヘキサメチレン=ジイソシアネート)

vapor : rat LC50=20 ppm/4hr (SIDS, 2004) et al

労働基準法: 疾病化学物質

酢酸 n-ブチル; キシレン; ヘキサメチレン=ジイソシアネート

局所効果

皮膚腐食性・刺激性

[日本公表根拠データ]

(キシレン)

ラビット 中等度の刺激性 (CERI・NITE 有害性評価書 No.62, 2004)

(ヘキサメチレン=ジイソシアネート)

ラビット (OECD TG404) 皮膚腐食性 (SIDS, 2004)

眼に対する重篤な損傷・刺激性

[日本公表根拠データ]

(エチルベンゼン)

ラビット 軽微から軽度な眼刺激性 (EHC 186, 1996)

(酢酸 n-ブチル)

ラビット 7日目まで回復 (ECETOC TR48(2), 1998)

(キシレン)

ラビット 中等度の刺激性 (CERI・NITE 有害性評価書 No.62, 2004)

(ヘキサメチレン=ジイソシアネート)

ラビット (OECD TG405) 眼腐食性 (SIDS, 2004)

感作性

感作性[厚労省局長通達]

ヘキサメチレン=ジイソシアネート

呼吸器感作性

[日本公表根拠データ]

(ヘキサメチレン=ジイソシアネート) cat.1; ACGIH 7th, 2001

皮膚感作性

[日本公表根拠データ]

(ヘキサメチレン=ジイソシアネート) cat.1; SIDS, 2004

生殖細胞変異原性データなし

発がん性

[日本公表根拠データ]

(エチルベンゼン)

IARC (2000) 2B et al

(エチルベンゼン)

IARC-Gr.2B: ヒトに対して発がん性があるかもしれない

(キシレン)

IARC-Gr.3: ヒトに対する発がん性については分類できない

(エチルベンゼン)

ACGIH-A3(2010): 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明

(キシレン)

ACGIH-A4(1992): ヒト発がん性因子として分類できない

(エチルベンゼン)

日本産衛学会-2B: 人におそらく発がん性があると判断できる証拠が比較的十分でない物質

生殖毒性

[日本公表根拠データ]

(キシレン) cat.1B; IRIS, 2003

(エチルベンゼン) cat.1B; SIDS, 2005

催奇形性データなし

短期ばく露による即時影響、長期ばく露による遅延/慢性影響

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

[区分 1]

[日本公表根拠データ]

(キシレン) 呼吸器、肝臓、中枢神経系、腎臓 (CERI・NITE 評価 No.62, 2004)

[区分 2]

[日本公表根拠データ]

(エチルベンゼン) 中枢神経系 (CERI ハザードデータ集, 1998)

(酢酸 n-ブチル) 呼吸器、中枢神経系 (ACGIH, 2001; PATTY 5th, 2001)

[区分 3(気道刺激性)]

[日本公表根拠データ]

(エチルベンゼン) 気道刺激性 (CERI ハザードデータ集, 1998)

[区分 3(麻酔作用)]

[日本公表根拠データ]

(キシレン) 麻酔作用 (CERI・NITE 評価 No.62, 2004)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

[区分 1]

[日本公表根拠データ]

(キシレン) 呼吸器、神経系 (CERI・NITE 評価 No.62, 2004)

吸引性呼吸器有害性

[区分 1]

[日本公表根拠データ]

(エチルベンゼン) cat.1; hydrocarbon, kinematic viscosity=0.74 mm²/s (25°C)**12. 環境影響情報**

生態毒性

水生毒性

水生生物に毒性

長期継続的影響により水生生物に有害

水生毒性(急性) 成分データ

[日本公表根拠データ]

(エチルベンゼン)

甲殻類(ブラウンシュリンプ) LC50=0.4mg/L/96hr (CERI・NITE, 2006)

(酢酸 n-ブチル)

魚類(ファットヘッドミノー) 96hr LC50 = 18 mg/L (CICAD 64, 2005)

(キシレン)

魚類(ニジマス) LC50=3.3mg/L/96hr (CERI・NITE, 2005)

(ヘキサメチレン=ジイソシアネート)

甲殻類(オオミジンコ) EC50 => 89.1mg/L/48hr (SIDS, 2004)

水溶解度

(エチルベンゼン)

0.015 g/100 ml (20 C) (ICSC, 2007)

(酢酸 n-ブチル)

0.7 g/100 ml (20 C) (ICSC, 2003)

(ヘキサメチレン=ジイソシアネート)

0.0117 g/100 ml (PHYSPROP Database, 2005)

残留性・分解性

(エチルベンゼン)

本質的に易分解性があり、水中から速やかに揮散する(SIDS, 2005)

(酢酸 n-ブチル)

BOD による分解度: 98% (IUCLID, 2000)

(キシレン)

BOD による分解度: 39% (CERI ハザードデータ集、2005)

生体蓄積性

(ヘキサメチレン=ジイソシアネート)

log Pow=1.08 (ICSC, 1993)

(エチルベンゼン)

log Kow=3.15 (PHYSPROP Database, 2005)

(酢酸 n-ブチル)

log Pow=1.78 (PHYSPROP Database, 2005)

(キシレン)

log Pow=3.16 (PHYSPROP Database, 2005)

土壤中の移動性データなし
オゾン層破壊物質データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法

- 環境への放出を避けること。
- 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

番号 : 1263

品名(国連輸送名) :

塗料又は塗料関連物質

国連分類(輸送における危険有害性クラス) : 3

容器等級 : II

指針番号 : 128

特別規定番号 : 163; 367; A3; A72; A192

バルク輸送における MARPOL 条約附属書 II 改訂有害液体物質及び IBC コード

有害液体物質(Y類)

ヘキサメチレン=ジイソシアネート; エチルベンゼン; 酢酸 n-ブチル; キシレン

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法

劇物(令第2条)

ヘキサメチレン=ジイソシアネート(0.2%)(法令番号 91 の 2)

労働安全衛生法

特化則 特定化学物質 第2類 特別有機溶剤等

エチルベンゼン

有機則 第2種有機溶剤等

キシレン; 酢酸 n-ブチル

名称表示危険/有害物(令 18 条)

エチルベンゼン; キシレン; 酢酸 n-ブチル

別表第1 危険物(第1条、第6条、第15条関係)

危険物・引火性の物(0°C ≤ 引火点 < 30°C)

名称通知危険/有害物(第57条の2、令第18条の2別表9)

エチルベンゼン; キシレン; 酢酸 n-ブチル; ヘキサメチレン=ジイソシアネート

化学物質管理促進(PRTR)法

第1種指定化学物質

エチルベンゼン(14%); キシレン(14%)

消防法

第4類 引火性液体第1石油類 危険等級 II

化審法

優先評価化学物質

ヘキサメチレン=ジイソシアネート; エチルベンゼン; キシレン

悪臭防止法

キシレン

大気汚染防止法

有害大気汚染物質(中環審第9次答申)

エチルベンゼン; キシレン; ヘキサメチレン=ジイソシアネート

船舶安全法

引火性液体類 分類 3

航空法

引火性液体 分類 3

水質汚濁防止法

指定物質

キシレン

法令番号 28

16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (5th ed., 2013), UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 18th edit., 2013 UN

Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECNO6182012)

2012 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK(US DOT)

2015 TLVs and BEIs. (ACGIH)

<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>

JIS Z 7253 (2012 年)

JIS Z 7252 (2014 年)

2015 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)

Supplier's data/information

責任の限定について

この情報は、私どもの知識の及ぶ限りにおいて正確ですが、当社は内容の正確性又は完全性について、何も責任を取ることとはできません。全ての材料を適当に使用する最終的決定の責任はユーザーのみのものです。全ての材料には、未知の危険性があり、取扱いに注意が必要です。ここには特定の危険性について記載してありますが、これ以外の危険性が存在しないことは保証できません。

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の実施を前提としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。